

2021年度大学入学者選抜変更点一覧

Vol.30(昨年9月時点)以降に発表された2021年度大学入学者選抜の変更点の情報の一部を下記にまとめた。Vol.30発行時点では国公立大学からの発表が中心であったが、10月以降検討中であった私立大学からも入学者選抜概要が続々と発表されている。さらに年度末にかけては、大規模私立大学の発表も行われると推測され、その動向に注目が集まっている。

※ここに掲載している情報は、2018年11月時点で(株)さんぼうが独自に調査したものです。掲載内容については今後変更等の可能性もあるため、各大学公表の最新情報を大学HP等で必ず確認してください。

学校名	設置学部	主な内容(抜粋)	備考
北海道			
札幌学院大学	心理学部 人文学部 法学部 経済学部 経営学部	◆全入試共通 ・学力の3要素を評価する観点から調査書を合否判定に活用。 ◆一般選抜型入試 ・共通テストは、択一問題に加えて記述式についても合否判定に活用。 ・英語の外検を活用。 ・全学科において「国語」を必須科目とし、その中で「知識・技能」に加えて「判断力・表現力」を評価。	
札幌大谷大学	芸術学部 社会学部	◆全入試共通 ・学力の3要素を評価する観点から調査書を活用 ◆学校推薦型選抜 ・全学科「面接・口頭試問」を実施。参考資料として調査書、推薦書、志望理由書等を活用 ◆総合型選抜 ・受験診断時に面接を実施。参考資料として以下の通り資料及び調査書を活用 <音楽学科>志望理由書 <美術学科>エントリーファイル→自己紹介書、自己表現の概要、自己表現をまとめたもの <地域社会学科>エントリーシート、作文またはレポート、オープンキャンパス振り返りシート ◆一般選抜 <音楽学科> ・面接を実施する際、参考資料として調査書を活用 <美術学科> ・面接を実施する際、参考資料として調査書を活用 ・「共通テスト利用・実技選抜」、「共通テスト利用・外検選抜」を実施(新設予定) ・「共通テスト利用・実技選抜」、「共通テスト利用・外検選抜」において、英語の外検を活用 <地域社会学科> ・調査書の活動実績による加点を行う ・「共通テスト利用選抜」を実施 ・「一般選抜」、「共通テスト利用選抜」において、英語の外検を活用※共通テスト利用選抜に関しては英語<リスニング>も課す <保育科> ・面接を実施する際、参考資料として調査書を活用 ・「一般選抜」において、英語の外検を活用※本学独自試験「読む」「書く」も課す	
日本医療大学	保健医療学部	◆全入試共通 ・学力の3要素を評価するため、調査書を活用 ◆一般選抜 ・共通テストの成績を利用した入学者選抜を実施	
日本赤十字北海道看護大学	看護学部	選抜区分の変更を発表。詳しい内容については後日HPに掲載予定 ※学校推薦型選抜の中に「公募推薦選抜」「指定校推薦選抜」に加え「赤十字特別選抜」が示されている。	
北翔大学	生涯スポーツ学部 教育文化学部	◆全入試共通 ・学力の3要素を評価するため、調査書を活用。 ◆学校推薦型選抜制度(※自己推薦選抜制度は廃止) ・「一般推薦」学校長の推薦書、小論文、面接 ・「指定校推薦」学校長の推薦書、口頭試問、面接 ・「指定スポーツ推薦」学校長の推薦書、口頭試問、面接、所属クラブ顧問・本学当該クラブ顧問の推薦書 ◆総合型選抜制度 ・エントリーシート、課題(実技含)、面談 ◆一般選抜制度 ・筆記試験、レポート ◆大学入学共通テスト利用選抜制度 ・共通テスト結果、レポート	※この他の変更内容は2019年3月頃に公表予定
北海道情報大学	経営情報学部 医療情報学部 情報メディア学部 通信教育部	◆総合型選抜 ・入学希望理由書及び活動報告書の提出、書類審査(調査書)、適性テスト、面接(グループ面接)、課題レポート提出 ◆学校推薦型選抜【公募制】 ・書類審査(調査書)、小論文、面接(口頭試問) ◆学校推薦型選抜【指定校制】 ・書類審査(調査書、推薦書)、面接(口頭試問) ◆一般選抜【一般選抜1期、2期】 ・学力試験、書類審査(調査書)、入学希望理由書 ◆一般選抜【共通テスト利用入学試験】 ・共通テストの成績(本学独自の学力試験は課さない)、書類審査(調査書)、入学希望理由書 ・英語の外検利用可。	※外検の配点等の詳細は後日発表予定
酪農学園大学	農食環境学群 獣医学群	◆全入試共通 ・学力の3要素評価の観点から、調査書を活用 ◆一般選抜 ・共通テストの成績を利用した入学者選抜を実施。またこれまで通り本学独自の学力試験及び共通テストを併用した試験も実施。 ・英語は共通テスト及び外検を併用。	※外検の具体的な活用方法は後日公表予定
宮城県			
石巻専修大学	理工学部、経営学部	◆全入試共通 ・出願資格、選抜方法、募集人員及び選考方法の変更は無し。 ◆一般選抜 ・学力の3要素を評価するため、調査書・志望理由書を活用 ・各試験科目において記述式問題を作問予定 ・英語については現行通り2技能を評価。また、外検も活用できるよう検討中 ・現在のA日程「センタープラス入学試験」の後継として大学独自試験の3科目に共通テストの高得点1科目を加え合否判定を行う試験を実施。共通テストの国語及び数学は記述式問題の結果も活用 ◆大学入学共通テスト利用選抜 ・学力の3要素を評価するため、調査書・志望理由書を活用 ・国語及び数学は記述式問題の結果も活用 ・英語については共通テストと外検を活用できるよう検討中 ◆総合型選抜 ・面接の際に口頭試問、プレゼンを課すことがある ◆学校推薦型選抜 ・高等学校長の推薦書については書類審査などに積極活用	
秋田県			
日本赤十字秋田看護大学	看護学部	◆学校推薦型選抜 ・合格発表の日程が12月上旬に変更予定 ◆一般選抜 ・共通テストの成績を利用した入学者選抜を実施。国語と数学に記述式問題が含まれる ・英語の外検を合否判定に反映(入学願書の特別活動報告書にて特殊技能欄を設け、記載内容を点数化) ◆学校推薦型選抜 ・英語の外検を合否判定に反映(入学願書の特別活動報告書にて特殊技能欄を設け、記載内容を点数化)	※英語の4技能を評価するため、2019年度入試(推薦・一般)より外検を合否判定に反映。
群馬県			
群馬パース大学	保健科学部	◆全入試共通 ・学力の3要素を評価するため、調査書・志望者本人が記載する書類・JAPAN e-Portfolioを活用(選抜においての具体的な活用方法は検討中) ◆一般選抜 ・共通テストの成績を利用した入試区分を設定。マーク式に加えて記述式も評価の対象とする。また英語において共通テストの成績と外検の成績を併用。(具体的な活用方法は検討中) ・個別学力試験ではマーク式の問題に加え、記述式の問題を出題。また英語は外検の成績を活用(選抜においての具体的な活用方法は検討中) ◆学校推薦型選抜、総合型選抜 ・基礎的な「知識・技能」それらを活用した「思考力・判断力・表現力」を評価する方法(小論文、プレゼンテーション、口頭試問)を実施	※2021年入試の具体的な事項については2018年12月末までに改めて発表予定
高崎健康福祉大学	健康福祉学部 薬学部 保健医療学部 人間発達学部 農学部※2019年4月開設予定	◆一般選抜 ・共通テストの成績を利用した入学者選抜を実施。国語と数学に記述式問題が含まれる ※英語の外検について ・入学者選抜の一部において外検の試験結果を積極的に活用※	※英語の外検の具体的な活用方法については後日公表予定
埼玉県			
獨協大学	外国語学部 国際教養学部 経済学部 法学部	◆全入試共通 ・出願基準、出願資格、外部検定活用入試で用いる英語の外検は全て4技能の試験のみとする。(英検、TEAP L+R、S.W、TEAPCBT、TOEFLIBT、GTEC(Advanced,CBT)、TOEIC L&R/TOEIC S&W、IELTS、ケンブリッジ英検) ◆学校推薦型選抜、総合型選抜、その他の選抜 ・「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をより積極的に評価するために、調査書・志望者本人が記載する書類等を活用 ◆一般選抜 ・共通テストを利用した入学者選抜を実施 ・学力の3要素の評価については現在検討中	※外検のスコアや成績利用方法は検討中
日本工業大学	基幹工学部 先進工学部 建築学部	◆学校推薦型選抜、総合型選抜、その他の選抜 ・「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をより積極的に評価するために、調査書・志望者本人が記載する書類等を活用 ◆一般選抜 ・共通テストを利用した入学者選抜を実施(共通テスト利用入試A~C) ・学力の3要素の評価については現在検討中 ※英語の外検について ・入学者選抜の一部において外検を積極的に活用	※外検の具体的な活用方法については後日公表予定
ものづくり大学	技能工芸学部	◆総合型選抜 ・出願時期を9月以降とし、合格発表日を11月以降とする ・プレゼン、口頭試問により判定(従来通り)。本人記載資料は口頭試問に加点する等積極的な活用を予定 ◆学校推薦型選抜 ・出願時期を11月以降とし(現行通り)、合格発表日を12月以降とする ・面接、口頭試問により判定(従来通り)。推薦書・調査書の評価は、面接、口頭試問に加点する等積極的な活用を予定 ◆一般選抜 ・実施時期は従来と同様。試験は3教科とし、記述式を含む筆記試験(出題・判定方法は従来通り)。調査書等を筆記試験に加点するなど、審査への積極的な活用を予定	※詳細な出願期間及び合格発表日については入試ガイド(2020年公表予定)を確認する事
千葉県			
中央学院大学	商学部 法学部 現代教養学部	◆全入試共通 ・入試区分の特徴に応じて、学力の3要素を評価 ・調査書の評価 ・英語の外検の活用を検討中 ◆一般選抜 ・共通テストを利用した入学者選抜を実施 ・個別学力検査を検討中	
東京都			
大妻女子大学	家政学部 文学部 社会情報学部 比較文化学部	◆一般選抜 ・独自試験(A方式)は2月と3月に複数回実施。指定する科目を組み合わせると合格判定に用いる(国文科、英文科以外)。試験、小論文または面接等を通して「理解度・思考力・判断力・表現力」等を評価。調査書や活動報告書の活用と評価方法に関しては決まり次第随時発表予定 ・共通テスト利用試験(B方式)は2月と3月に合格判定を実施。指定する科目を組み合わせると合格判定に用いる。試験を通して「理解度・思考力・判断力」等を評価。英語の外検の活用、記述式問題(国語、数学)の活用については、決まり次第随時発表予定	※短期大学についても同時に公表済み
慶應義塾大学	文学部 経済学部 法学部 商学部 医学部 理工学部 総合政策学部 環境情報学部 看護医療学部 薬学部	◆一般選抜 ・共通テストは利用しない ・英語の外検を利用しない(将来的な外検の利用については引き続き検討を行う) ・インターネット出願の際、学力の3要素「主体性」「多様性」「協調性」に関する経験について入力を求める(本人が入力する事。出願要件とする。)※合否判定には使用せず、入学後の参考資料としてのみ活用	

大学入学者選抜改革特集

学校名	設置学部	主な内容(抜粋)	備考
東京都			
昭和女子大学	人間文化学部 人間社会学部 生活科学部 グローバルビジネス学部 国際学部	◆一般選抜 ・(A日程入学試験)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢を評価。成績上位層は合格(上位95%)、ボーダーライン層(95~105%)、出願時資料に基づき主体性得点を算出し、合格を出す。 ・(共通テスト利用入学試験)国語と数学に記述式問題が含まれる。国語は段階別に得点化しマークシート式問題の得点に加点、数学の得点はそのまま利用。英語は外検の得点、成績を出願基準とする。	※詳細については2020年7月末までに発表予定
大東文化大学	文学部 経済学部 外国語学部 法学部 国際関係学部 経営学部 スポーツ・健康科学部 社会学部	◆一般選抜 下記①~③を通じて「学力の3要素」を多面的・総合的に評価 ①調査書の活用 ・「学力の3要素」のうち「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する経験の記入を出願要件とする ②共通テストにおける記述式問題の活用・本学独自試験における記述式問題の出題 ・共通テストの成績を活用。記述式問題も評価対象となる。 ・本学独自試験では書道実技試験を除きマークシート式のみ出題。国語、数学は共通テストの成績を利用予定。 ③英語外部検定試験の活用 ・英語については、4技能を評価するため外検も活用 ◆総合型選抜、学校推薦型選抜 ・「学力の3要素」を多面的、総合的に評価するため、調査書を活用	※調査書記載内容や一般選抜の詳細については2019年度を目的に公表予定
東京医療学院大学	保健医療学部	◆一般選抜 ・共通テストの成績を利用した入学者選抜を実施 ・英語については、2023年度まで実施される共通テストと外検の双方を選択利用する予定	※外検の活用方法は後日公表予定
東京慈恵会医科大学	医学部	<医学部看護学科> ◆全入試共通 ・共通テストの利用は無し ◆一般選抜 ・英語の外検を活用可(得点換算)→採用する外検(ケンブリッジ英語検定、英検、GTEC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W)を予定 ◆指定校推薦入学試験の実施 ・一般選抜に加え、指定校推薦入学試験枠を若干名とする	※現時点での公表は看護学科のみ
東邦大学	医学部 薬学部 理学部 看護学部 健康科学部	◆全入試共通 ・学力の3要素を評価 ・英語の外検を活用する方向で検討中 ◆一般選抜 ・共通テストの成績を利用した入学者選抜を実施	
神奈川県			
北里大学	理学部 獣医学部 海洋生命科学部 薬学部 医学部 看護学部 医療衛生学部	◆一般選抜 <全ての学部> ・一般選抜で課す科目は2019年度入試と変更なし <獣医学部、理学部> ・共通テストを利用した入試を実施 ・国語の記述問題は得点化し、選択式問題と併せて評価 ・英語は共通テストの成績のみ利用 <看護学部> ・英語の外検を利用(筆記試験に加点)する予定 ◆総合型選抜 <獣医学部動物資源科学科、生物環境科学科> ・講義理解力試験を課す。併せて面接及び本人記載の出願理由書・自己推薦書により学力の3要素を評価 ◆学校推薦型選抜 <薬学部> ・英語の外検を出願資格として利用する予定 <全ての学部> ・小論文や基礎学力検査あるいは口頭試問を課す。併せて面接、調査書及び推薦状により学力の3要素を評価	※その他の変更は随時HPで公表予定 ※入試日程等の詳細は2020年5月頃公表予定
新潟県			
新潟薬科大学	薬学部 応用生命科学部	◆全入試共通 ・学力の3要素を多面的、総合的に評価するため調査書を活用。その他、志願者本人が記載する資料やJAPAN e-Portfolioの活用については決定次第公表予定 ・2/1~3/25に実施、3/31までに合格発表 ・共通テストを利用した入学者選抜を行う。なお、利用科目、英語の外検の活用については決定次第公表予定 ・共通テスト利用入試以外の一般選抜(個別学力検査)において、記述式の問題を課す。※共通テスト利用入試については個別学力検査を課さない ・全学部において英語の外検の活用を検討中 ◆学校推薦型選抜 ・11月以降に出願、12月以降に合格発表予定 ・学力の3要素を評価するため「面接」及び「基礎学力調査または小論文」を課す(指定校制においても、「面接」に加えその他の評価方法等を検討中) ◆総合型選抜※ ・9月以降に出願、11月以降に合格発表予定 ・学力の3要素を評価するため「面接」及び「小論文、プレゼン、口頭試問、実験等」いずれかを課す	※現在AO入試を実施していない学部において、総合型選抜を実施する場合は決定次第速やかに公表予定
山梨県			
山梨英和大学	人間文化学部	◆全入試共通 ・学力の3要素を評価する観点から調査書を活用 ◆一般選抜 ・個別学力検査では、「知能・技能」に加え「思考力・判断力・表現力」を評価する記述式問題を出題 ・英語の外検を活用 ・共通テスト利用の一般選抜では、択一式問題に加え記述式問題、英語の外検も活用 ◆総合型選抜 ・出願時期を9月以降、合格発表時期を11月以降とする ◆学校推薦型選抜 ・出願時期を11月以降、合格発表時期を12月以降とする	※2021年度入試の詳細な入試区分や選抜方法、科目等については2019年度初頭を目的に公表予定
愛知県			
椋川女子学園大学	生活科学部 国際コミュニケーション学部 現代マネジメント学部 人間関係学部 文化情報学部 教育学部 看護学部	◆一般選抜 ・一般Aは、共通テスト併用型を廃止し、新たに(3教科型)を追加(2教科型は従来通り実施) ・一般Aの実施方法が変更。10時~12時の2時間で2科目を実施していた試験を時間割制とする。※	※時間割の詳細は、後日学生募集要項で要確認。

学校名	設置学部	主な内容(抜粋)	備考
京都府			
立命館大学	法学部 産業社会学部 国際関係学部 文学部 映像学部 経営学部 政策科学部 総合心理学部 経済学部 スポーツ健康科学部 理工学部 情報理工学部 生命科学部 薬学部 食マネジメント学部 グローバル教養学部 ※2019年4月設置予定	◆一般選抜 ・調査書の記載内容を合否判定に活用しない(出願時に提出された調査書等については、入学後の教育の参考資料として活用することがある) ・JEP(Japan e-Portfolio)等の記載内容を合否判定に活用しない ・共通テストを利用した入試を実施(従来実施しているセ試の利用方法に準じる)	※詳細については現在検討中であり、改めて公表予定
兵庫県			
関西学院大学	神学部 文学部 社会学部 法学部 経済学部 商学部 国際学部 教育学部 総合政策学部 理工学部	◆全入試共通 ・学力の3要素を評価 ・英語4技能を評価(出願資格とすることも含む) ◆一般選抜 ・国語において、記述式問題を実施 ・共通テスト(国語、数学I・Aの記述式問題、英語検定試験を含む)を利用した入試を実施	※詳細は2018年度中に決定、公表する
甲南大学	文学部 経済学部 法学部 経営学部 理工学部 知能情報学部 マネジメント創造学部 フロンティアサイエンス学部	◆全入試共通 ・2021年度入試においてはJAPAN e-Portfolioなどのe-ポートフォリオは活用しない ◆一般選抜 ・前期日程→出題教科、科目及び出題形式は現行通り。英語4技能については指定する外検を「出願資格」として活用。また、調査書を参考資料として活用 ・後期日程→本学独自試験のほか、共通テストの受験を必須とする。英語4技能については、共通テストを活用。また、調査書を参考資料として活用 ◆総合型入試 ・学力の3要素を評価するため、調査書、志望理由書等の出願書類のほか、独自に実施する教科科目試験、小論文、面接等を活用 ◆学校推薦型選抜 ・学力の3要素を評価するため、調査書、志望理由書等の出願書類のほか、独自に実施する小論文、面接等を活用。また、学校長からの推薦書に記載された学習歴や活動歴を踏まえた学力の3要素に関する評価を活用	※入試の詳細については2018年度末を目的に公表予定
福岡県			
九州共立大学	経済学部 スポーツ学部	◆一般選抜 ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢を評価するため「調査書」「JAPAN e-Portfolio」を活用 ・共通テスト利用入試を実施 ・国語等において記述式問題を導入 ・英語については外検を活用※ ◆総合型選抜 ・レポート方式において口頭試問を課す(H30年度入試より導入済み) ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢を評価するため「調査書」に加え本人の記載する資料や「JAPAN e-Portfolio」を活用 ◆学校推薦型選抜 ・口頭試問を課す ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ姿勢を評価するため「調査書」に加え本人の記載する資料や「JAPAN e-Portfolio」を活用 ・推薦書において、学力の3要素に関する評価を活用	※外検の具体的な活用方法については後日発表予定
熊本県			
九州ルーテル学院大学	人文学部	◆全入試共通 ・2021年度から活用される新しい調査書に記載の「主体性」などを評価 ◆学校推薦型選抜 ・指定校、併設校推薦は選抜方法に小論文を加え、合格発表時期は12月以降とする ・公募推薦は学校長の推薦書を提出(原則) ◆一般選抜 ・一般I期、II期選抜(独自入試)において、試験科目を1教科から「国語、数学及び英語から2教科選択」に変更。英語については独自の試験に加え、「大学入試英語成績提供システム」を活用	※さらに詳しい学生募集要項に関わる事項は、決定次第ホームページ等で公表する
熊本保健科学大学	保健科学部	◆一般選抜 ・新たなルールに基づき、調査書や志願者本人が記載する資料の提出を求め、総合的な評価に活用	※詳しくは2018年度中に公表予定
大分県			
別府大学	文学部 食物栄養科学部 国際経営学部	◆全入試共通 ・学力の3要素を評価する観点から、調査書、志願者本人が記載する資料等※を活用 ◆一般選抜 ・共通テストの成績を活用する入試を実施 ・英語の外検を活用(スコアや資格・検定試験の利用方法は検討中)	※書類等の名称は後日公表予定
立命館アジア太平洋大学	アジア太平洋学部 国際経営学部	◆一般選抜 ・共通テストを活用した入試を実施。国語・数学の記述式問題を活用。また、英語は外検も活用。 ・JAPAN e-Portfolioや調査書のデータを評価することで、学力の3要素を測る可能性について検討中 ◆総合型選抜 ・多面的、総合的な評価の観点から、引き続き志願者本人が記載・提出する資料や面接等を活用(具体的な活用方法については、決定し次第改めて発表予定)	※詳しくは2018年度中に公表予定

<注>
・2018年11月20日時点で2021年度新入試について公式ホームページ内で予告されている大学のみ表示しています。
・共通テスト=大学入学共通テスト ・外検=英語の外部検定